

神石小学校は、昭和40年に福永・古川・高光の3小学校が統合して開校しました。平成6年に永野南、平成10年に相渡、平成13年に牧、平成14年に草木・永野各小学校が統合し、現在神石地域で唯一の小学校となりました。平成5年に体育館落成、平成24年には、新校舎が落成し移転しました。

校区は、四季折々の自然美に満ち溢れた国定公園帝釈峡、風さわやかなスコラ高原、新緑と紅葉の美しさを誇る神龍湖など、自然体験学習に適した環境に恵まれています。校庭前には、中世の山城跡である八尾城公園が広がり、生活科や総合的な学習の場として、また冬の雪遊び場として活用しています。

人と自然・歴史・文化とのかかわりの中で、地域の未来を担う心豊かな子どもが育っています。



町木ヤマボウシ